

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 2 月 21 日

事業所名 オールケア児童デイみどり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		スタッフが安全に通れるよう導線を確保しております	設計時に利用定員の適切なスペースが確保できるようにしている
	2 職員の配置数は適切である	○		各専門職員の配置基準を満たしております	基準は満たしていますが、日によって変動があり、より充実した支援のため人材確保に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		段差はなく、車椅子のままでも手洗い等ができるようにしている	設計時よりバリアフリーとなっており、車椅子等でスムーズに移動出来ております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		専任で環境整備員(清掃)を配置している	少人数の活動が出来るよう可動性パーテーションを設置し、有効活用している
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		児童一人一人の担当を決めてカンファレンスを行うようにする	年間目標・月目標を決め、会議での振り返りを行い、スタッフに周知しております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年1回、アンケート実施し意向の把握と業務改善を図る	アンケート・モニタリング等を活用させて頂き、会議にてスタッフに周知し業務改善に努めております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケート実施後は、すぐに結果を考察し公表する	平成31年3月付にてホームページで公開しております
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	法人内の部局での内部監査を積極的に受けるように取り組んでいる	第三者による外部評価はおこなっておりませんが、法人内の部局で内部監査を実施し、業務改善に努めています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		スタッフが参加したい研修など検討しております。	AED研修・人権、身体拘束・感染勉強会等を行っています。また、職員の資質の向上を行う為、法人内部に人材センターを設置し、各種の職員研修を実施しています
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ご家族様との関りを大切にさせて頂いております	アセスメント時にご家族様・ご本人のニーズ等お話しさせて頂き、計画を作成しております
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	ADLシート・アセスメントシートと記入例を準備している	新規利用時にADLシート・アセスメントシートを活用し、モニタリングを行っております
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		発達段階に応じて、発達・家族・地域支援の中でも重点を上げられるようにしている。	発達支援・家族支援・地域支援の内容はおさえているが、表現が一致されていない部分を一致した。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		担当者を決めカンファレンスを行う	年間行事予定を会議で検討し、各担当者を決めております。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムの立案を全員で行い、担当は立候補で興味のある内容を担当できるようにしている	年間予定から月予定を決めて、活動内容の検討しております
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		担当を固定しないようにしている	休日や長期休暇は、季節に応じてのイベントや外出活動等、日頃できない活動を実施しています。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		年間行事・月間レクリエーション計画で集団活動を位置付けている	個別活動として理学療法士・作業療法士にデイで行える機能訓練の内容も取り入れており、職員間で共有できるようにしております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		昨日の留意点等、再度スタッフに周知しています	朝礼時、昨日の振り返り、本日の予定の確認、活動の分担や留意点を確認しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日終礼の時間を設け実施している	終礼時に振り返りの時間を作っております。日々の変化に留意し、事故防止に努めてまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日終礼の時間を設け実施し、ケースによって月2回のミーティングに取り上げている	内容によって記録用紙・支援経過・カンファレンス用紙に
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		入退院時には、病院への訪問もさせて頂いております	定期的にモニタリングを行っております。体調不良や入院時等あった場合は、訪問やご家族様との連絡をこまめに行い状況把握に努めております。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		ケースに応じて児童発達支援管理責任者と共に看護師・児童指導員・担当支援員が同席する	児童発達支援管理責任者が主として相談支援事業所の協議や担当者会議に参加しております。内容に応じて専門職の参加も行っております
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて連携を行っております	主治医の指示書を頂いております。また、保護者に指定病院の連絡先を記入して頂いております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		新規利用時及び年2回見学実施と当施設の見学を積極的に受け入れる	年2回訪問や必要に応じて、幼稚園や児童発達支援事業所等へ訪問し、より児童を理解する為、活動内容や食事方法などを見学させて頂いております。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主に指示書を活用し、定期的又は状態の変化時指示書の更新をする	施設内の相談支援、生活介護、居宅支援とも情報の共有を図っています。また、状況に応じて、他事業所等とも情報の共有を図っています
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		新規利用時及び年2回見学実施と当施設の見学を積極的に受け入れる	相互の見学実施と共に、当施設職員全員にも情報共有と理解を図っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		宇谷小学校に当施設の秋祭りの案内訪問をし施設を知ってもらう	秋祭りなどの機会に、地域住民等に当施設への来訪を呼び掛けております。今年度のお祭りの参加者数が増えました
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修内容にふさわしい職員が参加するよう配置	児童発達支援センター等の専門機関は、必要に応じて、助言や研修を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	年間行事の祭り等での交流を行っている	年間行事に位置づけ、地域の園の行事の参加を行っていただけるようにする
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		情報共有に努めて参ります。	市の通所連絡会に参加しております
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		定期的に活動の様子を写真で伝える。変化のある時は電話又は訪問し連携を図る	日々の記録や送迎時に保護者の方と直接お話し、日頃の学校での様子や希望を聞くように努めております。内容によってご連絡・ご訪問にてお話しさせて頂いております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントトレーニング力を高める	モニタリング時、必要に応じた支援をしています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		希望の日時に訪問し説明できるように設定する	契約時、契約書・重要事項説明書等により、説明を行っております
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		適宜及びモニタリングと評価月に行っております	分かりやすく丁寧な説明を保護者様と共有できるよう心掛けています

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者の体調にも気を配る	モニタリング時等、住宅環境や支援内容について、必要な助言等を実施しています。又、必要に応じて相談支援との連携に努めています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	施設内に喫茶スペースを設置し来所時には活用する	懇談会等は行えておりませんが、お祭りやクリスマス会などご家族様と一緒にでの参加の機会を作っており、ご家族様同士の交流があります
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		法人内の他事業所の苦情などの情報共有も行っております	児童や保護者からの苦情については、速やかな対応・体制作りを行っております
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		写真を撮り様子が分かるようにしています	当社のホームページなどを活用し、事業所内容、日々の活動の様子をブログで発信しております。又、その時の様子や表情が分かるよう写真をお渡ししております
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		定期的にミーティングで秘密保持・個人情報の保護の研修を行う	個人情報の管理については、定期的に職員に対して注意喚起をしています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童には必ず声かけをし必要時には写真や動画を利用し伝達している	常に保護者と緊密に連絡をとるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		広報担当を配置する	地域に開かれた事業所とする為、行事等の開催については近隣住宅、マンション、施設、学校等に案内状を送付しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		相談室に設置し職員及び来所時の保護者が閲覧できるようにする	緊急時・防犯時・災害時・感染対応マニュアルファイル等整備しています。職員はもとより、今後は保護者にも周知徹底していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画で日程と災害項目を決め実施している。	年2回の非常災害訓練及び月1回(地震・不審者対策等)必要な訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		主治医の指示書・薬剤情報を変更ごとに更新しています	流行時の予防接種は聞き取りが主である。新規時はアセスメントに項目を追加し事前に聞き取りを行っている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		主治医指示書の記入確認し個人ファイルに赤色で表記する	契約時等、保護者等からの聞き取りで食物アレルギー等の有無を確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		終礼時にヒヤリハットの有無を確認する	ヒヤリハット事例をミーティングなどで活用し、職員間で共有し、事故防止に務めています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修には順番で全員が参加できるようにし伝達研修を行っている	虐待防止、身体拘束等の研修を行い、ミーティングで検討する機会を作っております
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束の内容を説明し同意書を貰う記録用紙に拘束時間を記入する	やむを得ず身体拘束をする場合には、保護者等に事前の十分説明し、了解を得たのち、個別支援計画に記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 オールケア児童デイみどり 保護者等数(児童数) 6人 回収数 3 割合 50 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3					スタッフが安全に通れるよう導線を確保しております
	2	職員の配置数や専門性は適切である	1			2		基準は満たしております。ご利用者様の人数に応じて、スタッフの配置の変更しております
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3					段差なく出入りでき、車椅子のまま手洗いができるようにしております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3					専任の環境整備員配置と可動性パーテーションの有効活用を継続する
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3					アセスメント時にご家族様・ご本人のニーズ等をお聞きし、計画書を作成しております
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3					発達段階に応じて、発達・家族・地域支援の中でも重点をしぼるようにする
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3					担当者を決めカンファレンスを行う
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	3					年間行事予定から月予定を決めて、活動内容の検討をしております
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				3		秋祭りなどを機会に、地域住民等に当施設への来訪を呼び掛けております
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	3					契約時、契約書・重要事項説明書等により、説明を行っております
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3					定期的にご家族様と面談を行い、説明を行っています
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	2			1		送迎・モニタリング時に支援を行う
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3					日々の記録や送迎時に保護者の方と直接お話し、日頃の学校での様子や希望を聞くように努めております。内容によってご連絡・ご訪問にてお話しさせて頂いております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3					モニタリング時等、住宅環境や支援内容について、必要な助言等実施しております。又、必要に応じて相談支援との連携に努めています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	3					懇談会等は行えておりませんが、お祭りやクリスマス会などご家族様と一緒にでの参加の機会を作っており、ご家族様同士の交流があります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2			1		児童や保護者からの苦情については、速やかな対応・体制作りを行っています

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	3					常に保護者様と緊密に連絡を取るようになっています
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2			1		当社のホームページなど活用し、事業所内容、日々の活動の様子をブログで発信しております。又、その時の様子や表情が分かるよう写真をお渡ししております
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	3					個人情報の管理については、定期的に職員に対して注意喚起をしております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2			1		緊急時・防犯時・災害時・感染対応マニュアルファイル等整備しています。ご家族様にも周知徹底に努めます
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2			1		年に2回非常災害時訓練及び月1回(地震・不審者対策等)必要な訓練を行っています。今後、避難訓練報告のお手紙を配布させていただきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	3					これからも楽しんで頂けるよう充実したケア・内容を取り組んでまいります
	23	事業所の支援に満足している	1	2				利用して頂いている皆様全員にご満足して頂けるよう努めて参ります

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 2 月 21 日

事業所名 オールケア児童デイみどり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		スタッフが安全に通れるよう導線を確保しております	設計時に利用定員の適切なスペースが確保できるようにしている
	2	職員の配置数は適切である		○	ご利用者様の人数に応じて、スタッフの配置を変更しております	基準は満たしていますが、日によって変動があり、より充実した支援のため人材確保に努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差はなく、車椅子のままでも手洗い等できるようにしている	設計時よりバリアフリーとなっており、車椅子等でスムーズに移動出来ております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		児童一人一人の担当を決めてカンファレンスを行うようにする	年間目標・月目標を決め、会議での振り返りを行い、スタッフに周知しております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年1回、アンケート実施し意向の把握と業務改善を図る	アンケート・モニタリング等を活用させて頂き、会議にてスタッフに周知し業務改善に努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケート実施後は、すぐに結果を考察し公表する	平成31年1月付にてホームページで公開しております
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		法人内の部局での内部監査を積極的に受けように取り組んでいる	第三者による外部評価はおこなっておりませんが、法人内の部局で内部監査を実施し、業務改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		スタッフが参加したい研修など検討しております	AED研修・人権、身体拘束・感染勉強会等行っています。また、職員の資質の向上を行う為、法人内部に人材センターを設置し、各種の職員研修を実施しています
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		ご家族様との関りを大切にさせて頂いております	アセスメント時にご家族様・ご本人のニーズ等お話しさせて頂き、
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		ADLシート・アセスメントシートと記入例を準備している	新規利用時にADLシート・アセスメントシートを活用し、モニタリングを行っております
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムの立案を全員で行い、担当は立候補で興味のある内容を担当できるようにしている	年間行事予定を会議で検討し、各担当者を決めております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		担当を固定化しないようにしている	年間予定から月予定を決めて、活動内容の検討しております
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期時は行事予定を配布しています	休日や長期休暇は、季節に応じたイベントや外出活動等、日頃できない活動を実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		リラクゼーションセッションを使用しうつ伏せを行い排痰を促しています	個別活動として理学療法士・作業療法士にデイで行える機能訓練の内容も取り入れており、職員間で共有できるようにしております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		昨日の留意点等再度スタッフに周知しています	朝礼時、昨日の振り返り、本日の予定の確認、活動の分担や留意点を確認しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日終礼の時間を設け実施している	終礼時に活動での留意点を確認・整理し、その日気づいた点を終礼記録に記入し、終礼に参加出来ていないスタッフが翌日サインをし、スタッフに内容が理解できているか確認を行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日終礼の時間を設け実施し、ケースによって月2回のミーティングに取り上げている	終礼時に振り返りの時間を作っております。日々の変化に留意し、事故防止に努めてまいります。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		入退院時、病院への訪問もさせて頂いております	定期的にモニタリングを行っています。体調不良や入院時等あった場合は、訪問やご家族様との連絡をこまめに行い状況把握に努めております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		音楽・創作・機能訓練・行事・外出活動を組み合わせる。学校見学を年2回実施し連携を図る	放課後等デイサービスのガイドラインを職員間で周知しています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		ケースに応じて児童発達支援管理責任者と共に看護師・児童指導員・担当支援員が同席する	児童発達支援管理責任者が主として相談支援事業所の協議や担当者会議に参加しております。内容に応じて専門職の参加も行っております
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		変更等ある時は、連絡を頂いておりデイからも連絡しております	学校の年間行事・行事予定を把握しながら、保護者との連携を密に行っております。必要に応じて学校にも確認の連絡を行っております
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主に指示書を活用し、定期的又は状態の変化時指示書の更新をする	主治医の指示書を頂いております。また、保護者に指定病院の連絡先を記入して頂いております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		新規利用時及び年2回見学実施と当施設の見学を積極的に受け入れる	年2回訪問や必要に応じて、幼稚園や児童発達支援事業所等へ訪問し、より児童を理解する為、活動内容や食事方法などを見学させて頂いております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		アセスメントシート・主治医指示書・1日の流れ・ケア及び医療ケア手順書を踏まえる	施設内の相談支援、生活介護、居宅支援とも情報の共有を図っています。また、状況に応じて、他事業所等とも情報の共有を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修案内の内容にふさわしい者が参加するように配置する	児童発達支援センター等の専門機関は、必要に応じて、助言や研修を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		宇谷小学校に当施設の秋祭りの案内訪問をし施設を知ってもらう	秋祭りなどの機会に、地域住民等に当施設への来訪を呼び掛けております。今年度のお祭りの参加者数が増えました
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		計画段階である	協議会の参加を計画的に行っていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		定期的に活動の様子を写真で伝える。変化のある時は電話又は訪問し連携を図る	日々の記録や送迎時に保護者の方と直接お話し、日頃の学校での様子や希望を聞くように努めております。内容によってご連絡・ご訪問にてお話しさせて頂いております。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ペアレントトレーニング力を高める	モニタリング時、必要に応じた支援をしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		希望の日時に訪問し説明できるように設定する	契約時、契約書・重要事項説明書等により、説明を行っております
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者の体調にも気を配る	モニタリング時等、住宅環境や支援内容について、必要な助言等を実施しています。又、必要に応じて相談支援との連携に努めています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		施設内に喫茶スペースを設置し来所時には活用する	懇談会等は行えておりませんが、お祭りやクリスマス会などご家族様と一緒での参加の機会を作っており、ご家族様同士の交流があります
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		法人内の他事業所の苦情などの情報共有も行っております	児童や保護者からの苦情については、速やかな対応・体制作りを行っております
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			当社のホームページなどを活用し、事業所内容、日々の活動の様子をブログで発信しております。又、その時の様子や表情が分かるよう写真をお渡ししております
	35	個人情報に十分注意している	○		定期的にミーティングで秘密保持・個人情報の保護の研修を行う	個人情報の管理については、定期的に職員に対して注意喚起をしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童には必ず声をかけし必要時には写真や動画を利用し伝達している	常に保護者と緊密に連絡をとるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		広報担当を配置する	地域に開かれた事業所とする為、行事等の開催については近隣住宅、マンション、施設、学校等に案内状を送付しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	相談室に設置し職員及び来所時の保護者が閲覧できるようにする	緊急時・防犯時・災害時・感染対応マニュアルファイル等整備しています。職員はもとより、今後は保護者にも周知徹底していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年間計画で日程と災害項目を決め実施している。	年2回の非常災害訓練及び月1回(地震・不審者対策等)必要な訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	研修には順番で全員が参加できるようにし伝達研修を行っている	虐待防止、身体拘束等の研修を行い、ミーティングで検討する機会を作っております
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	身体拘束の内容を説明し同意書を貰う記録用紙に拘束時間を記入する	やむを得ず身体拘束をする場合には、保護者等に事前の十分説明し、了解を得たのち、個別支援計画に記載してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	主治医指示書の記入確認し個人ファイルに赤色で表記する	契約時等、保護者等からの聞き取りで食物アレルギー等の有無を確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	終礼時にヒヤリハットの有無を確認する	ヒヤリハット事例をミーティングなどで活用し、職員間で共有し、事故防止に務めています



保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年 2 月 21 日

事業所名 オールケア児童デイみどり

保護者等数(児童数) 10名 回収数 7名 割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1				スタッフが安全に通れるよう導線を確保しております
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1				基準は満たしております。ご利用者様の人数に応じて、スタッフの配置の変更しております
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7		1			段差なく出入りでき、車椅子のまま手洗いができるようにしております
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7					アセスメント時にご家族様・ご本人のニーズ等をお聞きし、計画書を作成しております
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7					年間行事予定から月予定を決めて、活動内容の検討をしております
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	2			秋祭りなどを機会に、地域住民等に当施設への来訪を呼び掛けております
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					契約時、契約書・重要事項説明書等により、説明を行っております
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7					日々の記録や送迎時に保護者の方と直接お話し、日頃の学校での様子や希望を聞くように努めております。内容によってご連絡・ご訪問にてお話しさせて頂いております。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1				モニタリング時等、住環境や支援内容について、必要な助言等実施しております。又、必要に応じて相談支援との連携に努めています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	1			懇談会等は行えておりませんが、お祭りやクリスマス会などご家族様と一緒に参加の機会を作っており、ご家族様同士の交流があります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1				児童や保護者からの苦情については、速やかな対応・体制作りを行っています
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					常に保護者様と緊密に連絡を取るようになっています
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1				当社のホームページなど活用し、事業所内容、日々の活動の様子をブログで発信しております。又、その時の様子や表情が分かるよう写真をお渡ししております
14 個人情報に十分注意しているか	6	1				個人情報の管理については、定期的に職員に対して注意喚起をしております。	
非常時	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	1	2			緊急時・防犯時・災害時・感染対応マニュアルファイル等整備しています。ご家族様にも周知徹底に努めます

等の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	3			行われているか分からない	年に2回非常災害時訓練及び月1回(地震・不審者対策等)必要な訓練を行っています。今後、避難訓練報告のお手紙を配布させていただきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	7					これからも楽しんで頂けるよう充実したケア・内容を取り組んでまいります
	18	事業所の支援に満足しているか	6	1				利用して頂いている皆様全員にご満足して頂けるよう努めて参ります

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。